

**思考プロセスの「見える化」と共有  
-話し合いの生産性を高めよう-**

## ■講師



吉田 広毅(常葉大学 教育学部 教授、初等教育課程長)  
平成 14 年度より常葉学園大学(現常葉大学)教育学部講師。准教授を経て、平成 26 年度より同大学ならびに大学院教授。平成 25 年度より教育コーディネーターを兼任し、主として全学教養教育のカリキュラム開発・改善を担当。平成 27 年度からは教育学部初等教育課程長を兼任し、教員養成カリキュラムを含めた FD・SD をミクロ・レベルからマクロ・レベルまで担当。

## ■プログラム概要

授業で学生に話し合いをさせると、会議で教職員が議論すると、意見は多く出るものの空中戦に終わって意見がまとまらなかったり、逆に意見が出ずに消極的な妥協に終わったりすることがありませんか。この研修では、議論の生産性を高める手立ての一つとして、シンキング・ツールを使った思考プロセスの「見える化」の方法を紹介します。具体的には、例えば、議論をまとめる、つまり収束的思考のためのツールや自由に意見を出してイメージを膨らます、つまり発散的思考のためのツールを扱います。

研修では、実際にグループワークを行う中で、複数のシンキング・ツールを活用して頂きます。アクティブ・ラーニングの生産性を高めたいと願う教員の方々、会議の生産性を高めたいと願う職員の方々のご参加をお待ちしております。

## ■主な受講対象

職務経験や職種にかかわらず、会議や授業を行うと参加者の議論がかみ合わなかったり、まとまらなかったりして困っている教職員の受講を歓迎します。

## ■本プログラムの到達目標

1. 話し合いの生産性を高める要件を説明できる。
2. 思考プロセスを可視化する意義を説明できる。
3. 思考に応じたシンキング・ツールを活用できる。

## ■日時・会場

日時:平成28年8月25日(木)13:00～15:00

会場:愛媛大学城北キャンパス